

# 大豆栽培管理情報（第5号）

令和2年9月18日  
アルプス農協管内農業技術者協議会

## 1. 収穫前の準備

- 汚損粒発生防止のため、事前に雑草や青立ち株を抜き取りましょう。
- 帰化アサガオ類やイヌホオズキ類、ヒユ類は、種子を残さないよう、抜き取った株は放置せず、圃場外で適切に処分しましょう。
- また、種子が機械に付着して広がらないよう、発生圃場の収穫作業は最後に行いましょう。



帰化アサガオ類



イヌホオズキ

## 2. 適期収穫

- 下記を目安に、「黄葉期」や「落葉期」から「成熟期」を予想し、早めに収穫・乾燥作業の準備を行いましょう。

### 収穫時期判定の目安

**黄葉期（成熟期の11日前）**  
（ほとんどの葉が黄化した頃）



**落葉期（成熟期の6日前）**  
（全体の40～50%の株が全落葉した頃）



**成熟期**  
（全株のほとんどが褐色になった頃）



- 圃場内のほとんどの莢が「褐色」になった頃を目安に、収穫を開始しましょう。

#### 【刈取始期の目安】

高水分粒がほとんどなくなり、  
90%以上の莢が褐色になった頃



莢色は明るい褐色、  
子実は球形で、硬さは爪跡が軽くつく状態

### ！ 刈遅れに注意！

刈り遅れると、立毛中の裂莢やしわ粒の増加、  
子実の光沢が低下するとともに、紫斑病の発病  
を助長するので、適期内収穫に努めましょう。

## 3. 収穫時の留意点

- 収穫時刻は、日中（午前10時～午後4時）とし、脱穀部や排出部のつまりを防止しましょう。刈始めに、コンバインの刈取り高さ（地際から10cm程度）をチェックし、土や石が混入しないようにしましょう。
- 作業速度は人がゆっくり歩く速さ（0.4～0.8m/秒程度）で行い、収穫時のロスを少なくしましょう。
- 収穫作業は、黒根腐病の無発生圃場から行いましょう。また、黒根腐病が発生した圃場は早期に落葉するため、大豆が小粒化し、しわ粒が増加するので、別刈りを行いましょう。

## 4. 乾燥

- 急激な乾燥はしわ粒や皮切れ粒の発生原因となるので、『気温+5℃以内』の送風温度、平均毎時乾減率は0.3%/hr以下で実施しましょう。
- 子実水分は14%を目安に仕上げましょう。

## 5. 収穫後の管理と次年度の作付けに向けて

- 大豆収穫後の豆殻や茎は早めにすき込み、腐熟促進と地力増強に努めましょう。なお、黒根腐病の拡散防止のため、すきこみ作業は、黒根腐病の無発生圃場から行いましょう。
- 畦畔や農道での帰化アサガオ類等の発生に注意し、結実前に除去しましょう。また、難防除雑草の発生が見られた圃場記録し、除草剤の選定や機械作業の順序等の計画に反映しましょう。
- 次年度の作付圃場が決まっている場合は、早めに額縁排水溝の設置を行うなどの排水対策を実施しましょう。

○生産記録簿は全て記入し、必ず各営農経済センターへ提出して下さい。

○共同乾燥調製施設利用の際は、収穫前に各営農経済センターへお問い合わせ下さい。